

2023年 3月15日

キッコーマン株式会社 様、千葉県立農業大学校  
産学連携による新たな価値創出への取組み

「その後① 研究結果について」

この度、当社の仲介により、千葉県立農業大学校による「未利用資源の飼料的価値等の有効性」を目的とした研究が、キッコーマン株式会社様ご協力のもと実施されました。※前回の記事は[こちら](#)。

飼育後期の豚の群れを、①従来の配合飼料のみ、②配合飼料 50%・大豆ダスト 50%、③大豆ダスト 100%の3つのグループに分け、精肉の上、在校生による官能検査（目隠しして豚肉を試食）を実施したところ、②と③の大豆ダストを利用した飼料が「香り」、「脂」、「おいしさ」について①を上回る結果となりました。この研究によって、従来の飼料コストが最大 85.8%も削減できると共に、「食品ロス削減」や焼却処分時に排出されてる「CO2削減」にも貢献できる、大変素晴らしい成果を収める事ができました！

日本環境開発(株)は今後も産学連携による「新たな価値の創出」のお手伝いをさせていただきます！



(右から＝千葉県立農業大学校 本多様、桑原様、弊社 嵯峨山)